

鈴の音 だより

編集・発行
済生会松阪市民病院

2026
Vol.351

7



社会福祉法人
恩賜財団
済生会

職員が誇りを持って働き、地域の皆様が誇れる病院

診療科案内

消化器内科

消化器内科科長 西脇 亮
内視鏡センター長

高度な内視鏡治療を、もっと安全に。



当院の消化器内科では、少人数だからこそできる、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を大切にしています。

近年、内視鏡医療は大きく進歩し、以前は手術が必要だった病気でも、内視鏡による低侵襲な治療が可能となっています。胃・大腸・胆膵疾患を中心に、高度な内視鏡治療を提供しています。

当院では高流量鼻カニュラ（NHF）を導入し、治療中の呼吸状態を安定して保つ体制を整えています。また、麻酔科標榜医が内視鏡室に常駐し、安全性に配慮した治療を行っています。

さらに、消化器センターとして外科と密接に連携し、定期的なカンファレンスや情報共有を行っています。内視鏡治療から手術まで、それぞれの専門性を活かしながら、患者さん一人ひとりに最適な治療をご提案します。

患者さんが安心して検査や治療を受けられるよう、スタッフ一同サポートいたします。

第69回 関西胸部外科学会学術集会

The 69th Annual Meeting of Kansai Thoracic Surgical Association



臨床工学室
河田 満貴

愛媛県松山市で開催されました第69回関西胸部外科学術学会で手術室CEが呼吸器外科手術にてスコープオペレーターとして介入した取り組みについて演題発表を行いました。

医師の働き方改革やタスクシフト制度により手術にてCEが胸腔鏡の操作ができるようになり、当院CEも2024年8月から現在までスコープオペレーターとして300件以上介入し現時点では医師が不足している呼吸器外科手術を行う上で欠かせない人員となっていること、導入から技術習得の工夫と取り組みについて報告しました。他の施設でもタスクシフトを利用した発表がありとても有意義な学会でした。

《 題目 》 呼吸器外科手術でのスコープオペレーターの取り組み

今回、第69回関西胸部外科学会学術集会にて、症例報告の発表をさせていただきました。発表や質疑応答自体も緊張しましたが、貴重な経験でしたが、何よりも様々な心臓血管外科や食道外科、そして呼吸器外科に携わる方々のご発表やご講演を拝聴することができたことが個人的にはとても嬉しかったです。出てくる手術動画や研究成果も非常に興味深く、今回見聞きしたことを今後の診療に生かせるよう、精進していきたいと感じました。

《 題目 》

超高齢患者の両肺に発生した肺癌に対し右上葉切除および左上葉垂区域切除を行い呼吸機能を温存できた1例



呼吸器外科
末永 あかり Dr



呼吸器外科
中村 文 Dr

このたび第69回関西胸部外科学会学術集会にて「当院での肺アスペルギルス症に対する外科治療の検討～内科的治療抵抗性症例を中心に～」を口頭演題にて発表させていただきました。もともと慢性肺アスペルギルス症、中でも慢性進行性肺アスペルギルス症に対しては内科的治療が中心で外科治療は合併症率や手術の難易度の高さから当院でもほとんど施行されておりませんでした。しかし自身が当院に赴任した2025年4月以降で高尾顧問のご指導のおかげもあり積極的に困難症例に対しても外科治療を適応してきており少数ではありますがその周術期成績を示す場となりました。今後も学会で指摘や質問を受けたことを臨床に活かしながら引き続き外科治療の恩恵を受けられる方々のために尽力していこうと思いました。また会場が愛媛であり美味しい食事やお酒をいただき大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

《 題目 》

当院での肺アスペルギルス症に対する外科治療の検討～内科的治療抵抗性症例を中心に～

いのち 生命の駅伝 2026

経営管理課 総務係 山田 典子

「がん」と診断されたら本人には告知せず、家族だけがその事実を知る時代がありました。しかし医学の進歩により、「がんは治る時代」へと大きく変わりました。

そこにたどり着くのに大切なのは「早期発見・早期治療」。そしてそれを実現するために欠かせないのが、がん検診です。

私はこの大切なメッセージを多くの方に届けるため、がん研究支援の募金活動と呼び掛ける「生命（いのち）の駅伝」に今年も参加しました。

目印は、背中に背負った青いリュック。そこには「命」と書かれた黄色い旗が結びつけられています。沿道や道行く人にその姿を見て記憶に留めてもらい、一人でも多くの方にがん検診の重要性を意識してほしい。そんな強い願いを



込め、5月27日（水）大紀町役場を出発し、松阪市役所までの約 40 kmの道のりを同じ思いのランナーと共に走りました。

多くの方ががん検診を「自分事」として捉えて行動することが、未来の命を守ることに繋がります。この体験を通じて、その思いはより一層強くなりました。がん検診は、自分自身のためだけでなく、大切な家族の笑顔を守るための一歩です。この活動は、これからもきっと途切れることはないと思っています。そして、来年もまた、黄色い旗を掲げて走り続けます。

中学校での 地域探求学習「嬉野学」に参加して

5月22日（金）に嬉野中学校2年生の地域探求学習「嬉野学」の「災害医療コース」として5、6限の2時間枠を頂き災害医療チームDMATについて授業に参加しました。

5限目は災害医療チームDMATについての講義と、DMATとして派遣活動に訪れた能登半島地震での活動内容について講義を行いました。6限目は野外に出てDMAT車両の見学や、派遣時に持って行く、資機材バックを身につけ、医療機器に触れていただきました。

授業に参加してくれた中学生の皆さんは、積極的に質問され、普段触れることの少ないDMAT車両や医療資機材への興味の高さをうかがい知ることが出来ました。生徒から「災害はいつ起こるかわからないので、自分も家族と避難場所を話し合っておこうと思った」などの感想を頂きました。

この授業は生徒たちが、地域の一員として助け合う意識を高めることを目的としています。今回の授業を通じて地域医療や防災力向上に貢献してくれることを期待します。

看護部 中村 友紀
瀬古 翔也



一次救命処置 (BLS) 6ステップ

あなたの一步が誰かの命をつなぎます。“助けたい”と思ったその気持ちが救命のはじまりです。

STEP 01

肩をたたいて意識の確認



「大丈夫ですか!大丈夫ですか!」
肩を優しくたたきながら
大きな声でよびかけます

STEP 02

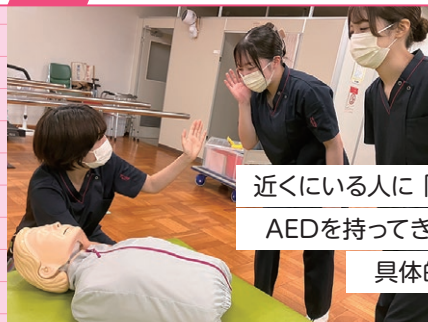
大きな声で助けを呼ぶ



意識がなければ大きな声で
「誰か来てください」と
周囲に助けを求めます

STEP 03

119番とAEDを依頼



近くにいる人に「119番通報と
AEDを持ってきてください」と
具体的に依頼します

STEP 04

呼吸の確認



10秒以内で、胸やお腹が
動いているかを見ます
動いていなければ
胸骨圧迫を行います

STEP 05

胸骨圧迫



胸の真ん中を、
肘を真っ直ぐ伸ばして、
強く**1分間あたり**
100 ~ 120回の速さで
絶え間なく押します

STEP 06

AEDでショック



AEDが届いたらすぐに
電源をオン!
あとは機械が何をすべきか
すべて指示してくれます

STEP 07

救急隊が到着までAEDのガイダンスに従って頑張ってください!



私たちはチームで命を守ります!

当院では、毎月1回 BLS (一次救命処置) 研修を実施しています。

医師や看護師だけでなく、事務スタッフを含むすべての職員が定期的に救命講習を受け、「どこにいても、どのスタッフが対応しても安心」をお届けできるよう備えています。私たちは職種の垣根を越えて、「全員で命を守る病院」を目指して取り組んでいます。



BLS チーム 伊藤 真央

地域連携課の役割

地域医療支援病院として、紹介患者さんや救急患者さんなどを積極的に受け入れるとともに、地域の医療機関やかかりつけ医の先生方、介護保険施設に従事される方々との“顔の見える連携”を推進しています。主な役割は大きく分けると

- ①前方支援（紹介患者さんの受け入れ調整） ②後方支援（退院や転院の支援、調整）
③医療相談（患者さんやご家族へのサポート） ④広報・地域活動（顔の見える関係づくり）
といった4つの柱があります。

今回は、地域活動の一つである登録医制度についてご紹介いたします。



登録医証とは

患者さんの「かかりつけ医」である地域のクリニックや診療所、歯科医院と本院が連携して患者さんの治療にあたる「登録医制度」において、連携病院から登録された医師に交付される証明書です。この登録医証を「かかりつけ医」の待合室や診療室で患者さんが目にすることで、本院との連携がしっかりとれていることが分かり、安心と信頼の一助にもなります。



新しい登録医証を直接お届け

現在、本院の登録医として251名（219施設）の医師や歯科医師の先生方が登録していただいております。登録医証が

交付されています。この度「松阪市民病院」から「済生会松阪市民病院」への移行に合わせて、新たな登録医証を交付し6月3日より順次全ての登録医の先生方のもとに直接お届けしております。



6月3日に登録医番号001番の志田幸雄先生（桜木記念病院）に新しい登録医証を直接お届けいたしました。

地域の医療機関との相互信頼を基盤とした

関係構築活動によりスムーズな医療連携を目的とし、紹介率・逆紹介率の向上を目指すとともに、患者さんにとって一貫した切れ目のない医療を提供できるよう努めてまいります。

清掃活動



済生会創立記念日
5月30日は
「ごみゼロの日」

地域をキレイに、ごみゼロ活動

済生会の理念の一つである「地域と共に歩む」という趣旨に沿って「わずかですが、地域貢献をしたい。」という思いの下、済生会の創立記念日である「ごみゼロの日」にちなみ、前日の5月29日（金）の仕事終わりに、済生会松阪市民病院と済生会松阪総合病院の2病院合同で、それぞれ病院の周辺の道路沿いのごみ拾いを実施しました。

本院の参加者75人は、部署ごとに班に分かれ、松坂城跡や市役所周辺の清掃活動を行いました。

今後、永く継続できる活動の一つになるよう、今日の思いを胸に、職員一同取り組んでいきます。

※今年は土曜日でしたので、前日の29日に前倒しで活動いたしました。

活動の目的

恩賜財団済生会は、地域の中ですべての人の“いのち”を分け隔てなく“医療”で救ってきた歴史が恩賜財団済生会の原点であり、実践を通して人と人とのつながりをつくり、誰もが地域の一員として共に暮らせるまちづくりを目指すため、それぞれの地域で取り組んでいます。



令和8年7月分

済生会松阪市民病院 外来医師担当表

令和8年6月19日作成

内科		月	火	水	木	金
	一般内科(新患)	井上れみ	三重大 三輪啓志	新患 蓮見伊織	新患 蓮見伊織	三重大 田丸智巳
	糖尿病科		三重大 西濃康太			
	特殊外来 午後(13:00~15:00)	腎内 石川英二		▲1,15,22,29日 血液 三重大 山口素子		

(注)一般内科受付は 11:00 まで

★(注)火曜日午前 2 診(糖尿)は予約診療のみ。

▲(注)水曜日午後 1 診(血液)は第 1,3,4,5 予約診療のみ。

※変更がある場合がありますのでご確認ください。

消化器・内視鏡治療センター		月	火	水	木	金
	一般外科(新患)	廣 純一郎	伊佐地秀司	春木祐司	中橋央棋	藤永和寿
	一般外科(再来)	横井 一		中橋央棋	春木祐司	
	乳腺外来 午後(13:30~)		吉川美侑子			
	消化器内科(新患)	川村 聡	西脇 亮	藤部幸大	高野純礼	澤井翔馬
	消化器内科 (再来)	西脇 亮			黒田 誠	藤部幸大
	特殊外来 午後(13:30~16:00)	大腸(1 診) 廣 純一郎	肝臓(5 診) 清水敦哉			

(注)一般外科受付は 11:00 まで (注)毎週火曜日午後乳腺外来は予約診療のみ。

火曜日特殊外来(5 診)は予約診療のみ。

呼吸器センター	呼吸器内科		月	火	水	木	金
		1 診	再診 田口 修	新患 古田裕美	再診 田口 修	再診 松浦信太	再診 田口 修
		3 診	畑地 治	▲14日 畑地 治	再診 古田裕美	畑地 治	畑地 治
		2 診 (補助診)			新患 江角真輝		
		4 診 (再来)	睡眠外来 鈴木勇太	鈴木勇太	伊藤健太郎	新患 鈴木勇太	新患 藤浦悠希
		5 診	新患 江角征哉	再診 江角征哉	再診 藤浦悠希	再診 西井洋一	再診 坂口 直
	呼吸器外科	内科3 診 (新患・再来)	手術	高尾仁二	手術	高尾仁二	手術
		内科2 診		★篠田真里		中村 文	

(注)新患の受付は 11:00 まで

循環器内科	午前		月	火	水	木	金
		1 診	泉 大介	▲14,28日 泉 大介 ▲7,21日 市川和秀	市川和秀	泉 大介	市川和秀
	2 診						
	午後	検査	検査	検査	検査	検査	検査

心臓血管外科		月	火	水	木	金
	午 前				水元 亨	

(注)2 週目木曜日のみ整形外科 2 診

整形外科	午前		月	火	水	木	金
		1 診	池村重人	スポーツ・膝・足の 外科外来 伊東直也	池村重人	▲2,16,30日 池村重人 ★	池村重人
		2 診			スポーツ・膝・足の 外科外来 伊東直也	岡本大輝	▲10,24日 スポーツ・膝・足の 外科外来 伊東直也
	手術	3 診	鈴木 陽	鈴木 陽	脊椎外来 山田淳一		山田淳一
		午前	手術	手術		手術	
	午後	手術	手術		手術		

(注)新患、予約のない方の受付は 11:00 まで ★(注)火曜 1 診の受付は 10:00 まで

(注)木曜 1 診の受付は 10:00 まで ▲7 月木曜 1 診は第 1,3,5 は池村医師となります。

(注)完全予約制

泌尿器科		月	火	水	木	金
	午前	1 診				
	2 診	新患 櫻井正樹	新患 櫻井正樹	新患 大学医師	新患 櫻井正樹	
	午後	検査	手術	手術	検査	検査

眼科	午前		月	火	水	木	金
		1 診	前原 陸	前原 陸	再来 田中弥生	前原 陸 再来 田中弥生	前原 陸
	午後	2 診	高嵩祐布子	高嵩祐布子	高嵩祐布子	代務医師	高嵩祐布子
		1 診	前原 陸	前原 陸			
		2 診	高嵩祐布子	高嵩祐布子			
		検査	検査	手術	検査	手術	

(注)午後の診察は月曜日・火曜日の 13:30 ~ 14:00

形成外科		月	火	水	木	金
	午前					▲3,17日 小泉正樹
	午後					手術

▲(注)7 月は第 1, 3 金曜。予約診療のみ。

皮膚科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	杉本恭子		杉本恭子	杉本恭子
	2 診	大学医師	手術	杉本恭子 大学医師		

(注)新患の受付は 10:00 まで。要紹介状。予約診療のみ。

歯科・口腔外科	午前		月	火	水	木	金
		初診	松山博道	交替	交替	仲村秀明	中橋一裕
		予約	中橋一裕	交替	手術	▲9,23日 中橋一裕 ▲2,30日 松山博道	松山博道 (予約のみ)
		予約	仲村秀明			▲9,23日 中橋一裕 ▲2,30日 松山博道	仲村秀明
	午後		中橋一裕 松山博道 仲村秀明	中橋一裕 松山博道 (予約のみ)	手術・ 歯周病 外来	▲9,23日 中橋一裕 ▲2,30日 松山博道 仲村秀明	手術・ 歯周病 外来

(注)受付は 10:00 まで (注)顎関節外来は予約診療のみ。

(注)火曜午前初診・予約は中橋医師と松山医師の交替制となります。

(注)急遽担当医師が変更になることがあります。

▲(注)7 月木曜診察は中橋医師 9, 23 日、松山医師 2, 30 日。

脳神経外科		月	火	水	木	金
	午前	1 診	済生会医師 交代			
	2 診					

(注)受付は 11:00 まで

耳鼻咽喉科		月	火	水	木	金
	午前	大学医師		大学医師	大学医師	

変更箇所

★: 今月より変更

●: 月途中より変更

■: 先月より変更

▲: 今月のみ

受付時間(科により異なります。)

午前 8:00 ~ 11:30

午後(診察のある科のみ) 13:00 ~ 14:00

済生会松阪市民病院

〒515-8544 三重県松阪市殿町1550番地 TEL 0598-23-1515(代表)